

令和6年度

事業報告書

自：令和6年 4月 1日

至：令和7年 3月31日

社会福祉法人あおい会

社会福祉法人あおい会

令和 6 年度事業報告

経営理念

『人が生き生きと 楽しい生活が送れるよう お手伝いをする事』

スローガン

『すべては 利用者さんのために』

令和 6 年度、報酬改定に伴い、あおい会においても可能な限り改定内容に対応すべく支援や事業の取り組み方を検討してまいりました。

特に今後の事業それぞれの方針や地域における役割を明確化していかなければならない過渡期であり、対応一つ一つを今後も精査していく必要があります。

収支面を見ますと、苦しい事業も多く、明確な課題については早急に解決に向けて取り組んでおります。

以下、令和 6 年度事業計画に基づいて報告をさせていただきます。

① 綿密な情報共有

管理者会議の定期的な開催を行っております。

また、事業の展開について法人と事業管理者とのあいだでしっかりと検討を行い、事業間での連携強化に繋がっております。

② 意識改革と支援力向上

各事業所での研修のほか、海南海草圏域における中核的人材及び広域的人材の育成に関して取り組んでいく運びとなりました。

令和 7 年度より研修への参加に向け調整しております。

③ 法人内研修構築

令和7年度内にキャリアパスの構築に取り組みながら、法人研修の実施に向けて題材や日程調整の課題の解決案等の検討を行っております。

④ 広報と情報収集

あおい会全体のパンフレットの製作が完了し、実用しております。

また、法人の施設入所支援事業、通所事業、相談支援事業合同で太陽の丘家族会の協力のもと、通所施設利用者のご家族や支援学校関係者と学生のご家族様に向け、居住支援に関する説明会を開催いたしました。

⑤ AI・ICT・ロボット技術等の利用について

ICT導入の検討に必要なネットワーク構築、支援ソフトの検討等の情報収集を行っています。

また、外部からの情報収集と情報発信（障害分野におけるICTやAI技術は提供する企業も現在開発を進めている段階のため）を行い、今後も継続して我々の活動に必要な知識・技術の獲得に向けて取り組んでまいります。

令和6年度事業報告

あおい学園

1. 定員と現員 (R6年度末)

定員 30名 現員 36名

利用延べ人数 7,706名

開園日数 234日

2. 入園児・卒園児数

入園児 13名 (R6年4月)

卒園児 10名 (R7年3月) 転園児 4名 (R7年3月)

3. 月別在園児数 (契約者数)

4月～36名

4. 年齢別園児数 (R6年度末)

1才	2才	3才	4才	5才	6才
0名	0名	1名	19名	6名	10名

5. 障害程度 (R6年度末)

療育手帳	A1 0名	A2 10名	B1 7名	B2 11名	計 28名
------	-------	--------	-------	--------	-------

6. 住所内訳 (R6年度末)

和歌山市	36名
------	-----

7. 療育支援

発達に遅れのある就学前の幼児が、毎日通園して集団生活を通じて障害を克服して、できるかぎり社会生活に適応できるよう、療育支援を行い未発達の諸機能の発達促進に努めました。

8. 保健衛生

耳鼻科検診	5月30日
内科検診	5月21日、2月18日
歯科検診	6月20日、1月15日
検尿	2月5日・2月6日

9. 年間行事

4月	4/8 前期支援始まり 入園式
5月	親子遠足 児童福祉週間プレゼント（県福祉健康部長来園） 保護者会総会
6月	母親教室（就学のお話） 保護者会見学（和大付属特別支援学校・県立紀北支援学校・さくら支援学校・コスモス支援学校） 内科検診 耳鼻科検診 歯科検診
7月	あおい夏祭り・七夕祭り（2部制で実施） 自由参観 母親教室（茶話会）
8月	プールあそび（園庭） 夏休み（8/13～8/15）
9月	母親教室（卒園児保護者懇話） 個人懇談会 消防訓練 9/30 前期終了
10月	10/1 後期支援始まり 親子運動会 母親教室（発達障害専門医招致） 消火訓練
11月	自由参観 親子遠足（片男波公園）
12月	親子クリスマス会（2部制で実施） 冬休み（12/28～1/5）
1月	1/6 支援始まり 親子制作教室 歯科検診
2月	節分行事 内科健診 日曜参観
3月	ひなまつり行事 個人懇談会 お別れ遠足（さぎのせ公園） 卒園式 新入園児1日体験通園 3/31 後期終了
その他	毎月1回 : 身体測定 ・ 避難訓練 ・ 誕生日会 ・ 作業療法支援 ・ 音楽療法支援 ・ 絵本読み聞かせの会 随時 : 園外保育（市内の公園・郵便局・和歌山城・秋葉山）

10. 職員研修

人権・虐待・安全管理について等内部研修を実施しました。

11. 園児募集

令和7年春入園より、市内の児童発達支援センター4事業所の応募を市役所で受け付け、市・保健センター・事業所等関係機関による入園調整会議を行い入園児を決定する方法になりました。

12. 園児の防災対策

随時避難訓練を行っています。

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人あおい会 あさも園

あおい会経営理念である「人が生き生きと楽しい生活を送るお手伝いをする」に基づいて、利用者さん本位のサービスの提供に努め、自立と社会参加の促進、意思決定に配慮した支援を行うと共に個々に応じた日中活動の提供と、取り組みを展開して参りました。コロナ感染に関しては、時折感染者の発生もありましたが、何れも単発で感染拡大に至ることはございませんでした。

また、「権利擁護」と「災害対策・安全管理」の徹底を掲げ、各委員会を中心として運営して参りました。

1. 事業内容

◇生活介護事業 (利用者数：27名)

利用者さんの日常生活の自立に向けての支援(食事・排泄・整容・着脱衣等)の提供、また創作活動(軽運動・手話ソング・音楽鑑賞・創作・ビデオ鑑賞等及び生産活動(スポンジの袋詰め作業等)の機会を提供しました。そして外部講師を招いてのクラブ活動(お花・フラダンス・太鼓・ピアノ演奏等)についても展開し、コロナウイルス感染対策のもと豊かな生活が送れるよう支援して参りました。

◇就労継続支援B型事業 (利用者数：25名)

やりがいを感じながら生産活動のできる内容(クッキー製造作業・スポンジの袋詰め作業)のものを提供し、生産する喜びとともに就労意欲の向上に努め、作業に自信と誇りが持てるようコロナウイルス感染対策のもと支援して参りました。

そしてクッキー作業においては、積極的に各種の販売イベントにも出店することで、活気にもつながり販売の実績向上につながりました。

2. 人権擁護・虐待防止対策

人権擁護推進・虐待防止委員会により、定期的な会議(二カ月に一回)を開催、権利擁護と虐待の防止に向けての研究・討議を行ないました。

さらに、人権擁護・虐待防止に関する職員の知識・技術の向上を図るため、計画的な職員の外部研修参加及び伝達研修と内部研修の充実を図りました。

また、職員の権利侵害に関する自己点検を行うことで、職員個々の人権に対する意識の向上、対応策等について検討して参りました。

3. 地域との交流

紀伊地域の文化祭“紀伊文化まつり”や紀伊小学校児童の登下校の見守り隊に従事し安心安全な街づくりに寄与し、また施設周辺の清掃活動などを実施したり5月には水路清掃に協力して地域とのつながりを大切にしたい取り組みを行いました。

4. 実習生の受け入れ

地域貢献・地域交流の一環として、また、社会に開かれた事業所として、紀伊中学校の職場や意見実習・支援学校生徒の職場実習、看護学校や福祉専門学校学生の福祉現場実習などの受け入れ等積極的に実習生を受け入れて参りました。

5. 非常災害の予防と安全確保

毎月消防訓練・避難訓練(火災・地震・防犯)・不審者対応訓練を実施し、防災対策と利用者・職員の安全確保に努めました。

災害対策・安全管理対策推進委員会により、定期的な会議(二カ月に一回)を開催、災害対策・安全管理について研究討議・実践を行ってきました。

南海トラフ地震等の備えについては、県の危機管理・消防課による助言も参考にし、給食委託事業者と災害時の食料確保についての話し合いを行い、保存食に加えて米・根菜類・インスタント食品の備蓄を行っております。食料品以外の備え等の安全対策についても継続して取り組んで参ります。

また社会福祉施設は災害・感染症拡大等の非常時においても、「事業継続が求められる事業所」に位置づけられることから、損害を最小限に抑え事業の継続や早期復旧を図るための「事業継続計画書（BCP）」を作成し備えています。

6. 職員の資質の向上

各種研修会に参加、伝達研修等内部研修を実施し、職員の知識・技術の向上に努めて参りました。

7. 年間行事等

令和6年度

日 時	行 事 等
4月	お花見会 3/26：大池荘（紀の川市貴志川町）
5月15日	保護者会総会（和歌山市北コミュニティセンター） 春季遠足〔関西空港展望ターミナルスカイビュー〕
6月～9月 27日	Pプラン希望別外出 （カラオケ・ボウリング・買物飲食等） 内科検診（塩崎医院院長）
10月11日	あさも秋季運動会 （県障害児者サポートセンター体育館）
11月 1日 3日 28日	日帰りバス旅行〔神戸アトア・萬壽殿〕 紀伊文化祭り （絵画・創作物展示） 内科検診（塩崎医院院長先生）
12月 1日 20日 28日	和歌山県ゆうあいスポーツフェスタ （ビッグホエール） クリスマス会 仕事納め
1月 6日 9日	仕事始め 初詣（府守神社） 戎参り（岩出大宮神社）
3月 9日	和歌山市社協祭り （和歌山市あいあいセンター／ふぁんふぁん出店）

令和6年度太陽の丘事業報告書

(1)施設の概要

- ① 所在地 和歌山県海南市上谷777-1
- ② 利用定員 生活介護：87名 短期入所(空床型)：6名
施設入所支援：70名
グループホームふあんふあん：8名
グループホームかつらぎ荘：4名
- ③ 居室構成 一人部屋(8) 二人部屋(7) 四人部屋(14) 計29室
- ④ 令和6年度の概要

＊ 太陽の丘は障害者総合福祉法サービス体系で、「全ては利用者さんのために」のスローガンのもと支援を提供しました。

令和6年度末の現在員は63名。

現在員内訳 男性35名【40】 女性28名【30】

※【 】内通常人数

令和6年は基本的な感染対策を継続しながら事業を行っている。

退所／令和6年 7月 3日 女性1名

令和6年10月17日 男性1名

入所／令和6年 4月 1日 男性1名

／令和6年 9月 1日 男性1名

※入所/ここ数年来、問い合わせに関しても、直接保護者の方より相談支援事業所からの比率が高くなっており、当年度入所された2名の方も相談支援事業所からの話。

※退所/介護施設へ1名の方、逝去（死因 急性心不全）にて1名

(2) 施設方針

施設方針「リスクマネジメントの充実で、大切な利用者さんを守って、がっちり信頼関係を築き、家族と利用者さんに安心を提供する」に則り、「利用者さんの生命・諸権利を保障」し、なおかつ一人一人の個性を尊重した利用者さんが安心・安全に生き生きと楽しい生活が送れる高品質で多様なサービスを提供し、施設らしさを感じさせない家庭的なサービス提供を行いました。

(3) 生活支援

「生活の場」としての衣食住の環境の充実を図ると共に、体幹機能のメソッドとして日常生活を利用者さん本人自ら営むこと。これら全てが体幹機能のメソッドとなるわけではありません。

衰えは利用者さんの高齢化のみによってもたらされるものではなく、日常生活が

どのように過ごされるよう「生活の場」が形成されているかが要因として大きくなるか小さくなるかを左右します。生活の場は諸権利の保障の場と言い換えてもいいでしょう。

脅かされる安全性に配慮しつつ安全安心に生活を支える場の提供を行えるように取り組みました。

また日常生活に必要な基本的な習慣、身辺処理・清掃活動に取り組み、習慣・積み重ね支援で形成された生活によって社会生活への適応性を育成し、地域生活に通じる支援に取り組みました。

(4) 日中活動

〔花 係〕

花係の所属利用者さんは、15名。

活動内容としては、空き缶・新聞紙等のリサイクル作業を主に行いました。そして個々の身体機能や能力に応じた運動レクリエーションとしてウォーキングに取り組み、怪我や老化の予防に努め、各自にやりがい・生きがいを持ってもらう様な活動支援を提供しました。

※令和7年2月よりリサイクル(空き缶)を中断しています。

〔鳥 係〕

鳥係の所属利用者さんは15名。

レクリエーションの一つとしてカラオケ、輪投げ、気分転換を図る創作(折り紙、描画、輪っか作り)、散歩も活動に取り入れて、心身を動かす機会もつくっています。その中で体力・気力を引き出し、健康維持・リフレッシュにもつながる活動に取り組みました。

〔宙 係〕

宙係の所属利用者さんは、18名。

DVD鑑賞、棟内・屋外での軽運動及びレクリエーションを中心に行い、体力の維持に努めました。高齢化が進んできている中、怪我の予防等にもつながるので少しでも体を動かして体力の維持をして頂こうと積極的に取り組んで参りました。

〔海 係〕

海係の所属利用者さんは、15名。

日頃の生活している中で、日常生活の動作をともに行い、今までとこれからを大事に、身体面及び精神面のケアに取り組んでいます。

※令和7年4月より、現行4係体制から、職員配置を日中活動3係体制へ移行し、当事者(利用者)へのサービス円滑を図る。

(5) 余暇活動支援

余暇活動として、その人らしく生活を営むためには、さまざまな人との関わりを育て深める必要があると思います。施設に閉じこもったままではなく、社会に出てたくさんの刺激を受けて頂けるサービスの提供をしています。

(6) 買物外出・パーソナルプランについて

これまで多くの利用者さんに外出の機会を提供させて頂くこと念頭に取組んで参りました。引き続き基本的感染対策を継続しながら、外出は年間を通じ一人当たり1.9回となっております。

年度内に2回、コロナウイルス感染がみられ外出を控えました。

(7) 看護係

検診関連として年に一回歯科検診を6月に実施。令和7年3月に健康診断・血液検査・胸部レントゲン・尿検査を実施しました。また11月には、インフルエンザの予防接種を実施しました。日常的には感染予防として、皆さんに手洗いうがいの励行を実施しています。

通院についてですが、厚生病院の神経科・内科・外科・整形外科・眼科・泌尿器科、さいとう耳鼻科、吉村皮膚科・桐皮膚科・宮本病院・和歌浦病院・井内歯科・おくクリニック・さくらクリニックに各種の通院を実施しました。肺炎等での入院がありました。

理美容につきましては、男性月1回、女性2カ月に1回実施しております。

※医療関係の件数

男性421件 女性330件 バックアップしているGH せいゆ50件

計801件

協力医療機関 野上厚生病院 557件 井内歯科 124件 を占めます。

近年増えてきているのが 海南医療センター 医大病院

発熱関係で急遽利用するのがおくクリニック さくらクリニック

平均12回 医療を多く使われている回数は 女性25回 男性46回

(8) 権利擁護会議

平成29年より内部研修、行き過ぎた支援（虐待）について年3回行いました。利用者さんは生活者であり、本人が日々出会う物事、人との関係を尊重した上での支援への取り組み。行き過ぎた支援、それは支援だろうか職員同士思い考えられる時間共有をテーマにしています。

義務化・従業者への研修実施・虐待防止のための対策を検討する委員会として虐待防止委員会を設置とともに、委員会での検討結果に従業者に周知徹底する・虐待の防止等のための責任者の設置、虐待防止委員会に求められる役割、虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証や再発防止策等に向け進めております。

(9) 年間行事

家族の方々と楽しいひと時を過ごし、交流を深め家族のきずなを確認することと併せ地域の方々との交流を目的に各種の行事を開催しておりました。

基本的な感染予防を継続しながら年間行事を行っています。保護者の方にも参加いただき、楽しめる行事を利用者さん、職員で行いました。

(10) 食生活

栄養面だけではなく雰囲気・献立・盛り付け・食器・食事マナーなどに配慮し、月に数回メニューを複数用意し食事選択の自由も考えた食事を提供しました。

また平日の昼食時には、開始時間を調整し 出来立ての副食を温かいうちに味わってもらえる食事を提供しました。

給食会議を開催し、食事の形態に関わる協議を行い、豊かで潤いのある食事の向上に取り組みました。

おやつは8回おこなっています。

(11) 防災管理体制

太陽の丘防災計画に則り次の各種訓練を実施し、利用者さん・職員の火災・自然災害に対する意識向上をめざし防災対策の充実強化に取り組みました。

訓練内容／避難訓練(1回／月)

総合防災訓練(3月5日)

普通救命講習(中止：感染症により)

防災設備器具の、維持点検の実施。(令和7年3月)

以上

令和6年度 療育センターAOI 事業報告

療育センターAOI 事業内容		
もなみ・リアン(従たる事業所) もなみ	生活介護事業 就労継続支援B型事業	多機能型
エトワル	児童発達支援事業所 放課後等デイサービス事業	多機能型
療育センターAOI 相談支援事業所	相談支援事業 (一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援)	

あおい会経営理念に基づき、『利用者、保護者の方が、「利用したい」と思っ
て頂ける事業所』であるよう、一人一人の思いにしっかり耳を傾け、利用者
さんの体調、健康状態に配慮し、個別支援計画に沿って充実した活動が提供
できる様、取り組みました。

10月24日(木)に、もなみご利用の保護者さんを対象に、社会福祉法人
あおい会(太陽の丘)についての説明会を海南ノビノスにて実施しました。

保護者として将来を不安に思われているところで、あおい会への期待を強
く感じられる会となりました。

《令和6年度報酬改定について》

支援の実態、また事業の機能や支援体制強化などに応じた報酬等の見直
しなどがあり、各事業において対応を行っています。

《行事について》

“利用者の皆さんに楽しんで頂ける内容を！”と言う事で、少人数での実
施安全面に配慮しながら、季節感を感じてもらえる様に工夫して実施しまし
た。(別紙もなみ・リアン・エトワル年間実施行事、活動内容を参照)

《感染症について》

9月末から10月初めにかけて、もなみにて職員2名、利用者9名が新型コロ
ナに感染。リアンにおいては、ご家族や他利用事業所での感染にて濃厚接触
に当たることから休んで頂く等、感染拡大防止に協力頂きました。

風邪ひきなどでも、利用者さんで数名の方が肺炎や喘息を発症された方
も居られました。

今後もしっかり感染対策をしつつ感染拡大の防止のための研修や取り組
みを実施して行きます。

また、今年度から義務化された『感染症BCP(業務継続計画)』について
も作成し職員で共有しています。

《防災について》

令和6年5月28日、6月18日、7月12日に気象警報が発令され、マニユア

ル通り(保護者等に連絡し、送迎を自粛させてもらうなど)対応するなどしました。大事に至らず良かったですが、警報解除のタイミングなどで、事業の開所等の判断に難しさを感じました。

また、南海トラフ地震に備え、地域や行政との連携を図るべく、自治会との関係(備蓄品や避難の協力体制)を強化しました。

また、今年度から義務化された『災害BCP(事業継続計画)』を作成し職員で共有しています。

《各種委員会、防犯訓練、研修会、各事業総括と計画》

令和7年2月22日(土)に毎年実施しているセンター全職員出席による研修・各委員会会議を実施。

午前中、各委員会の定期会議を実施。虐待防止委員会。感染症防止委員会、非常災害対策推進、身体拘束適正委員会など、各委員会を開催。(委員以外の職員は施設清掃)

委員会終了後、職員全員にて不審者対応訓練を実施(防犯訓練動画視聴しマニュアルを確認)。

午後より各事業の令和6年度の総括と令和7年度の年間計画会議を実施、終了後に各委員会会議及び各事業会議の内容を共有のため各事業代表に報告。その後に「権利擁護」内部研修会として、療育センターAOI相談員に「障害のある人の権利擁護と虐待防止について」で講義してもらって、職員一人一人の人権、虐待防止に関する知識、技術の向上を図りました。

《地域連携について》

地域連携を進めていく必要性がある中、自立支援協議会に積極的に参加し、行政や関係機関と連携を図り、地域福祉の貢献に努めました。

また、海南市より生活支援体制整備事業推進の委託を受けている海南市社会福祉協議会さんに協力していくことを申し合わせをしました。

《各事業総括》

☆もなみ(生活介護) 定員14名

契約利用者19名(R6年3月末現在) 平均利用者数13.3人 平均障害程度区分 4.86
サービス管理責任者1名(常勤兼務) 生活支援員4名(常勤専従)

“利用者さん1人1人に安心して過ごして頂ける空間に”と配慮することで、外出や集団活動の幅を少しずつ広げることが出来、行事や生産活動(ブラシ内職作業)、余暇活動など楽しんで過ごして頂くことが出来ました。

利用者さんの利用状況については、グループホームの短期入所を利用する方が増えてきており(週末にご利用)、月曜日と金曜日に休まれるケースが多くなってきています。

生活介護の報酬改定について、基本報酬は営業時間と設定されていましたが、改定後は利用者ごとのサービス提供の実態(障害支援区分ごと・利用定員

規模・サービスの提供時間別)に応じた細かく価格設定されたことにより、もなみ・リアン生活介護事業では定員数を変更(21名から20名に減員)。

また、サービス提供時間を確保(6時間)するために職員の就業時間を延長する等で対応しました。

実習生(高等部1年)を1名受け入れています。

作業工賃:一人当たり月額平均389円(個人最高平均額904円)

※令和6年度年間実施行事等は別紙をご覧ください。

☆リアン(重症心身障害者受け入れに特化、もなみ生活介護の従たる事業所)定員6名

契約利用者11名(R7年3月末現在) 平均利用者数4.7人 平均障害程度区分 6.00

サービス管理責任者1名(常勤兼務) 看護師3名(常勤専従・2名は非常勤専従1名)

生活支援員 1名(常勤専従1名)

今年度末の3月に高等部を卒業された1名(実習を経て)と契約。11名と契約し利用して頂いています。

当事業を利用されている方は、主に、重度の身体・知的の障害をお持ちの方となり、医療ケアが必要な方も対象に受け入れる事業であるため、常に表情や体調の変化に配慮に心がけました。

体調不良や治療のためなどによる入院された方もおられた事から利用率は若干低くなってしまいました。

活動は、スヌーズレンの理念を参考にした感覚刺激(エアートランポリン、アロマセラピー、光彩刺激等)、散歩、創作活動、ゲーム、また、季節感ある行事や調理しそれを食し体験する等、充実した日々を過ごして頂けるよう取り組みました。

※令和6年度年間実施行事等は別紙をご覧ください。

☆もなみ(就労継続支援B型) 定員10名

契約利用者14名(R7年3月末現在) 平均利用者数10.1人 障害年金1級受給者割合 53%

サービス管理責任者1名(常勤兼務) 職業指導員1名(常勤専従)

生活支援員1名(常勤専従1名) 目標工賃達成指導員1名(常勤専従)

5月に1名の実習を受け、翌月より契約となるも、昨年度2名の利用者さんが、もなみ生活介護に移られたため、現在の契約者は13名で昨年度より1名減でしたが、3月に新卒者1名が増え14名となり、昨年度より2名増となりました。

他事業所からの利用希望者の見学者2名、実習者(高1)1名をそれぞれ受け入れています。

生産活動はクッキー(製造・販売)事業、雑貨(内職)事業を実施、令和6年度の目標工賃は5,800円とし、一人当たりの平均工賃は、令和6年度は5,051円で、令和5年度より1,200円ほど減っていますが、原材料等の高騰はありましたが、内容量の調整等の工夫にて収益は維持しましたが、利用が増えることで一人当たりの工賃が減ってしまいました。

活動は、利用者の交流や気分転換を兼ねての外出や食べたいものをテイクアウトしてたり、外出先や内容を決めたりすることで、“次は何を食べようか”、“次はどの店にしようか”ととても楽しみにされていました。

※令和6年度年間実施行事等は別紙をご覧ください。

☆エトフル(児童発達支援・放課後等デイサービス) 定員10名

契約利用児17名(R7年3月末現在) 平均利用者数8.0人

児童発達支援管理責任者 1名(常勤専従) 保育士 2名(常勤専従)

児童指導員1名(常勤専従1名)

運営時間 (10:00～18:00) 長期休暇中(9:00～17:00)

3月末で特別支援学校卒業生が2名ありましたが、送迎することで地域の小学校からの1名受け入れています。

児童(子供)という事と障害特性も様々で動きも激しく、日頃から安全面での配慮を一番に考えながら事故なく楽しく、集団での取り組みを中心にしながら個々に合わせた対応と発達支援、療育支援を実施しました。

今年度の報酬改定による利用時間区分(5時間)について、保護者の就労や家族の都合に出来るだけ添えるように、運営時間を超えての利用(延長支援加算の評価)を実施しています。

またガイドラインに基づく5領域の支援の視点を含めた内容を個別支援計に盛り込み公表する必要などの改定があり、対応、実施しています。

保護者によるエトフルについてのアンケート調査を実施させて頂き、ホームページにアップしています。

※令和6年度年間実施行事等は別紙をご覧ください。

☆療育センターA01(一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援)

現在、本事業は相談支援専門員(常勤職員5名と非常勤1名)にて進めています。

令和6年度も相談支援事業を円滑に運営し、各事業所と連携のうえ「利用者さん一人一人の想い」にしっかり耳を傾け、充実した相談援助をおこなうことに心掛けました。

法人内外でのサービス利用者さんや地域の障害児・者(家族等を含む)等から、様々な談を受け、それぞれの「悩み」や「生きづらさ」を丁寧に受け止め、環境調整支援や医療的支援等における通院同行・各制度利用へむけた申請の代行等が大きな役割となっています。また海南市・紀美野町や和歌山県から「委託事業」を受託しており、海草圏域における困難事例への対応にも取り組んでいます。

「誰もが住みやすい環境づくりの実現」へ向け、行政機関と連携し協議会運営等も行かない「研修企画」や「他事業所が行う特定相談困難ケースでの協働支援等」を展開しました。

このため相談件数は年々増加し「サービス等利用計画とモニタリング作成業務」は年間約1,000件近く、委託相談に関しては(延べ)約1,500件と多くの相談を受けました。

令和6年度 もなみ・リアン・エトワル年間実施行事・活動内容

別紙

月	もなみ生活介護	もなみ就業継続支援B型	リアン	エトワル
4月	避難訓練 5日	花見(ウオーキング)センター中庭桜 4日	お花見パーティー お楽しみランチ 1日、2日 19日	買物(自販機)2日(あむーる)30日 クッキング(ケーキ)5日(たません)17日 お楽しみランチ(すき家・松屋)3日 外出(いきいき広場)4日(自然博物館)10日(紀三井寺競技場)24日 クッキング(焼きそば) 15日
	避難訓練 7日	海南医療センター販売月 合同バーベキュー 17日	避難訓練 クッキング(綿菓子) 25日、26日 8日	
	合同バーベキュー 20日	合同土砂災害避難訓練(防災センターへ) 24日	重里 Dr. 診察 13日、19日、21日	外出(自然博物館)5日 買物(川のパン)17日 クッキング(フレンチトースト)19日 防災避難訓練(黒江コミュニティセンター) 26日
5月	避難訓練 20日	合同防災訓練(通報訓練、火災・津波避難訓練)	10日	クッキング(そうめん)10日 買物(ジュース自販機)19日 買物(セントラルシティー)30日(スーパーセンターオークワ)31日 外食(びっくりドンキー)30日
	おやつカフェ(トマオニ)23日、24日、25日 26日、29日、30日、31日 避難訓練 7日	海南医療センター販売月 温山荘夏遊びクッキー販売 避難訓練 7日	七夕会 5日 避難訓練 2日	
6月	お楽しみランチ(王将) 20日		夏祭り 17日、18日、21日、22日	買物(松源)6日(ローソン)13日(オークワ)14日(マクドナルド)28日 買物(オークワ) 28日 クッキング(ゼリー)2日(たこ焼き)15日(ホットケーキ)28日 外食(サイゼリヤ)7日 お楽しみランチ(ガスト)27日 クッキング(ポテト、ナゲット) 29日 外出(自然博物館)19日
	たこ焼きパーティー 県立自然博物館見学 避難訓練 12日	和歌山防災設備点検 3日 カレーパーティー(中庭)昼食 18日 避難訓練 10日	避難訓練 お月見会 17日 避難訓練 8日 避難訓練 17日 避難訓練 24日 遠足(和歌山城動物園) 4日、5日 避難訓練 7日	クッキング(卵せんべい) 16日 ハロウィンパーティー 23日 クッキング(モダン焼き) 20日 外出(うるわし館) 6日
7月	紅葉狩り(野上ふれあい公園) キッチンあすかテイクアウト弁当 避難訓練 15日	海南医療センター販売月 実習1名受け入れ(紀北 ") 18日~21日 避難訓練 5日	避難訓練 19日 クリスマス会(国療さん) 25日 クリスマス会(コスモス) 27日	クッキング(カップラーメン)18日(ケーキ) 25日 お楽しみランチ(ガスト) 26日 クリスマスパーティー 25日 買物(コスモス) 27日
	クリスマス会(パンケーキ作り) 26日 忘年会(銀鈴よりテイクアウト) 27日 避難訓練 10日	忘年会(銀鈴よりテイクアウト) 27日 通報・津波避難訓練 24日	クリスマス会(国療さん) 25日 クリスマス会(コスモス) 27日	
8月	初詣 7日~10日、14日、15日、20日 味丸(テイクアウト弁当) 24日 実習1名受け入れ(紀北 ") 15日、16日 避難訓練 16日	海南医療センター販売月 初詣 9日 実習1名受け入れ(紀北 ") 15日、16日 避難訓練 16日	初詣 16日、17日、22日 避難訓練 15日 節分 3日 避難訓練 18日	買物(オークワ)7日(マクドナルド)24日 クッキング(焼きそば)7日(オムライス)22日
	おやつ買物(シャトレーゼ) 20日、21日、26日 避難訓練 4日	実習(紀北支援学校高1生) 5日 避難訓練 4日	豆まき3日 外食(王将)3日 クッキング(カップラーメン)20日 買物(デイリーヤマザキ)25日	
9月	外食(和食さと)10日、11日、12日、13日、14日 外食(王将) 3日、14日(モス)15日 避難訓練 4日	海南医療センター販売月 和歌山防災設備点検 22日 海南消防立ち入り検査 27日	ひな祭り 3日 避難訓練 12日	買物(ツルハドラッグ)5日(デイリーヤマザキ)25日 お楽しみランチ(すき家)14日 外食(トマト&オニオン)18日 クッキング(焼きそば) 19日